

## 繊維事業部

# アートとアップサイクルシステムの融合！ L∞PLUS（ループラス）の新広告 東京駅に登場

3月30日から、東京駅構内に設置されている繊維のアップサイクルシステム「L∞PLUS」の広告を、大原美術館所蔵のモディリアーニの絵を採用した新しいデザインにリニューアルしました。

## 大原美術館とのつながり

大原美術館は1930（昭和5）年にクラボウの2代目社長である大原孫三郎が開館した、日本で最初の西洋美術中心の私立美術館です。地域社会への貢献のために設立された同美術館は、時を超えて倉敷市の観光名所として地域の活性化に貢献しています。

今回は、イタリアの有名な画家であるアメデオ・モディリアーニの《ジャンヌ・エビュテルヌの肖像》を採用。彼が描いた最愛の女性の絵画に込められた色褪せることのない想いと作品は後世に受け継がれ人々を感動させています。

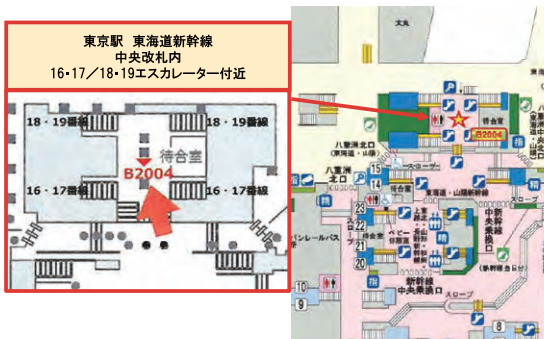


モディリアーニの作品とL∞PLUSの融合

モディリアーニの美しくも力強い表現で永く愛され続けた絵画と、L∞PLUSの繊維のリサイクルで資源を未来へつないでいくコンセプトを融合させることで、より多くの方にL∞PLUSの価値を感じていただけるよう、目を引くデザインに仕上げております。リニューアルされた広告をきっかけに、L∞PLUSについてより多くの方に知っていただき、ご理解を深めていただければ幸いです。

L∞PLUS <https://looplus-kurabo.com/>

### ●クラボウ「L∞PLUS」電照広告掲載場所



今後、繊維事業部では、L∞PLUSを通じて、環境に優しい社会の実現への取り組みを積極的に推進してまいります。  
リニューアルされた広告の場所は、八重洲中央北口と八重洲北口の周辺、中2階部分の16・17／18・19番線エスカレーター近くの柱。東京駅で新幹線に乗り降る際に目に入る位置となります。  
新幹線改札内とはなりますが、出張やお出かけの際はぜひご覧ください。

（繊維企画課 萩本 千夏 記）